シネマズライフ

2020年2月7日発行 第176号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 涼音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『聖☆おにいさん 第Ⅲ紀』今回は第Ⅲ紀。「いつまで休んでんねん！」という陰口は《神》だから気にならないらしい(笑)

【最近のこれはまずいぞ！】『祟り蛇ナーク』お国柄なんだろうけど、日本では祟らない蛇もいるぞ。《タイ発のホラーコメディー》だそうで予告編を見ると『霊幻道士』以来期待が膨らみます。

映画の風景 日本の風景

※ 札幌雪まつり 氷像とさっぽろテレビ塔 ※

← 氷像とさっぽろテレビ塔

『アナと雪の女王』という映画があった。こんな映画だ。

アレンデール王国の王女エルサとアナはなかよし姉妹。エルサは雪と氷を自由に操れるという魔法の力を持っていた。

ある日エルサ8才の時、2人が遊んでいたところアナに魔法が当たり気を失ってしまう。2人の両親の王と妃は、近くに住むトロールの力を借りアナは元気になるが、エルサとの【出来事】の記憶も消されてしまう。

一方、成長するにしたがい《魔法》の力が強くなるのを恐れた王と妃は城を閉鎖し、自分の力を恐れたエルサは誰にも会わなくなる。しかし、事情を知らないアナはエルサと会えなくなり、寂しい思いをつのらせる。

ところが10年後、航海に出かけた王と妃は船が沈み死んでしまう。

そしてその3年後、女王として戴冠式を行う事になったエルサは、魔法の力が強くなり国民に嫌われるのではないかと恐れていた。が、なんとか無事式を終えた時、アナが招待客のハンス王子と意気投合し婚約する。

それを聞いたエルサは大反対。喧嘩になり、思わず国民の前で魔法を使ってしまう。そんな新女王に国民は恐れ、エルサは悲しみの為、ノースマウンテンに氷の城を作り籠ってしまう。

ところが、アレンデールはエルサの魔法で夏だというのに真冬に！国民は困り果て、アナは一人・ノースマウンテンに向かうが…。

北海道の【札幌雪まつり】は、毎年見事な雪の芸術で人々を魅了します。

この映画の物語もアナとエルサの温かい愛情で魅了します。

『アナと雪の女王』2013年 アメリカ 監督：クリス・バック 監督 脚本：ジェニファー・リー 製作総指揮：ジョン・ラセッター
声の主演：[英語版]クリステン・ベル イディナ・メンゼル ジョナサン・グロフ [日本語版] 神田沙也加 松たか子 原慎一郎

ディズニーが代表曲・「レット・イット・ゴー」は松たか子の歌が一番だと宣伝していたが、後でそれを各国で言っていたのを知りさすがディズニー！と商売が上手いと妙に感心。

期待のドラマが始まって思った事

令和最初の年の年末の連続ドラマの視聴率がほとんど出揃った。

『ドクターX～外科医・大門未知子～』は、医療版《水戸黄門》ともっぱらの評判。さすがに初回20％で最近の視聴率とすればオバケ番組だ。

『まだ結婚できない男』は13年前の『結婚できない男』の続編であいかわらず《結婚できない男》桑野は結婚できそうにない。

『時効警察はじめました』は13年前の『時効警察』の続編。12年前に『帰ってきた時効警察』も作られている。どちらのドラマも当時高視聴率だったが13年前のドラマとなると当時の勢いはないようだ。両作共視聴率は高くないが最近はドラマを録画して見る人が多くなり、13年前と比較できない。その証拠に評判作となった『おっさんずラブ』も時間帯の事もあるだろうが、あまり視聴率は高くなかった。

今までは、ヒットの基準は【視聴率】だったが、《単なる見るだけ》《録画》《DVDになったら見る》など最近は複雑になってきているので単純に作品の評価はできない。

日常のアイテムとして、最近では個人の意見の発信はブログからTwitterなどとなり、何かを発信したい人にとってはこんな便利なアイテムはない。

しかし、複雑になってきている日々の生活で、率直に意見を言えるのは簡単に書き込めるTwitterだが、その為文字(言葉)があまりにも軽くなりすぎている気がする。おかげで特にTwitterでは【罵倒言葉】が日常言葉になりかけている。しかし、それを書いてる人達は、【罵倒言葉】を日常言葉してる訳でもなかろう。

ドラマの復活も「昔の夢よ！もう一度！」だとすると、視聴率に振り回され実に軽い考えに戻っている訳だ。

【罵倒言葉】もストレスのはけ口かもしれないが、その言葉に振り回され最近の人々の思考は、実は単純に戻りつつあるのかもしれない。

72号のコラム「期待のドラマが始まって思った事」を再構成・加筆しました。m(_ _)m

ウィキペディアを参考にさせていただきました。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

ＣＳ・ＢＳ放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。m(_ _)m

『新幹線大爆破』

東映チャンネル

1975年　日本
監督 脚本：佐藤純彌　脚本：小野竜之助
原案：加藤阿礼
出演：高倉健 山本圭 織田あきら 宇津井健 渡辺文雄 千葉真一
丹波哲郎 鈴木瑞穂 竜雷太 田中邦衛 宇津宮雅代 岩城滉一
小林稔侍 藤田弓子 山内明 北大路欣也 志村喬

2月9日(日)20:00
2月13日(木)22:00
2月23日(日)13:00
2月27日(木)20:00

ある日の東京。国鉄本社公安本部に新幹線１０９号博多行きに爆弾を仕掛けたという電話が入る。それも新幹線の走行スピードが８０キロ以下になると爆発するという。解除の方法をは５００万ドルを払えば教えると言うのだ。

最初は信用しなかった公安本部だったが、札幌近郊の貨物列車が同じ方法で爆発された事を知り公安本部は動揺する。

その頃、不況のあおりで工場を潰した沖田と工員の大城、元過激派の古賀達三人はこの計画を成功させ海外に逃亡しようとしていた…。

日本でのパニック映画の代表作。

当時の暗い世相を背景に影のある男・沖田を高倉健が、運転指令長の倉持を宇津井健が颯爽と演じている。

『未知との遭遇[ファイナル・カット版]』

WOWOW

2002年(1977年-オリジナル) アメリカ
監督 脚本：スティーヴン・スピルバーグ
音楽：ジョン・ウィリアムズ
出演：リチャード・ドレイファス
フランソワ・トリュフォー テリー・ガー

2月9日(日)25:30 ⇒ 2月10日(月)1:30　【WOWOWシネマ】
3月27日(金)28:35 ⇒ 3月28日(土)4:35　【WOWOWプライム】

現代、突如！世界中の砂漠に１９４５年に消えた戦闘機・バミューダトライアングルで行方不明になっていた貨物船などが不明なった当時のまま現れる。同じ頃、各地で【未確認飛行物体（ＵＦＯ）】が目撃され、大規模な停電も起りアメリカはパニックに。

インディアナ州の電気技師ロイは停電の為呼び出され、車を走らせるが車の上をが【ＵＦＯ】が飛び激しい光を目撃する。ロイは夢中で追いかけるが、その車の前に【ＵＦＯ】を追いかけてきた３歳のバリーが飛び出すが、バリーの母・ジリアンが間一髪で助ける。そんな三人の上では【ＵＦＯ】が激しい光を放ち飛び去って行った。

それから、ロイは【ＵＦＯ】を忘れられなくなり、不思議な映像が見るようになる…。

スティーヴン・スピルバーグの代表作。美しく輝く【ＵＦＯ】群は今でも印象深い。

『英雄は嘘がお好き』

2018年　フランス・ベルギー
監督 脚本：ローラン・ティラール
脚本：グレゴワール・ヴィニェロン

出演：ジャン・デュジャルダン
メラニー・ロラン
ノエミー・メルラン

一八〇九年、フランス・ナポレオンの時代。ブルゴーニュの貴族・ボーグラン家の姉妹の妹・ポリーヌの婚約者・ヌヴィル大尉が戦争の為出兵した。

婚約したばかりのポリーヌは、約束した手紙を毎日待つが、手紙は来なかった。しかし、それをわかっていた人が一人。

ポリーヌの姉・エリザベットで、ヌヴィル大尉のいい加減な性格を見抜いていた。

毎日彼からの手紙を待ちついに寝込んでしまったポリーヌを慰める為にエリザベットは、ヌヴィル大尉の代わりに妹に手紙を書く事に。

手紙を見てポリーヌと両親は大喜び。おかげでエリザベットは次々とヌヴィル大尉が戦場で大活躍する手紙を書き続け、ついでに暇を持て余す近所の貴族達の話題の種にもなる。やがて、ポリーヌも元気になるが、このまま書き続ける訳にもいかず、ヌヴィル大尉を大活躍の末華々しい戦死を匂わせて終らせる。

それから、3年。エリザベットが街を歩いていると、なんと放浪者になり果てたヌヴィルを見つける。実は、戦場に向かったものの軍を脱走していたのだ。今や、街の英雄になっていた彼の帰還はエリザベットにとっては大迷惑。お金を渡し街を出るように言い渡すが、なんと翌日、エリザベットの前にヌヴィル大尉に戻った彼が現れる…。

妹の為に、書いた手紙が大うけして、話が大きくなっていくところが見どころ。あれだけの想像力があれば、エリザベットは小説家になれます(笑)。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_)m 貴樹諒音

☆次回発行は2月21日です。2月発行予定は第1・3金曜日です。m(_)m

【編集後記】

☆変な風邪だと思ったら【新型コロナウイルス】で、世界中が大変な事に、関西もこれから油断できないだろうし、予防の為のマスクはどこにもない状態。しかも、発病しなくてもうつるそうで、簡単に外にも出られない。これから本格的に流行する気配もあり…

皆様お気をつけてください。かしこ。m(_ _)m

シネマズライフ176号
発行人：貴樹諒音
発行日：2020年２月７日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １７６号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《東映チャンネル》
『新幹線大爆破』
《ＷＯＷＯＷ》
『未知との遭遇［ファイナル・カット版］』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：デザインエッグ株式会社